

整理番号 28. 大阪市公共基準点及び道路基準点の記

大阪市公共基準点及び道路基準点の記

- ・用紙サイズはA4サイズでCAD仕上げ同等とする。縮尺による作成は必要としない。
- ・保全工区名、基準点番号、標識種別、作成日、方位等を記載すること。
- ・測定は鋼巻尺を使用し、1方向2点で4方向以上をとり、原則として半永久構造物より取得すること。取得できる構造物がない場合は、地先境界ブロック上に鉋を設置するなど見出し方向を確保するものとする。また、引照鉋の設置や人孔蓋等に刻印を行った場合は見出し点間の距離も取得すること。（標識刻印、ガードレール刻印、止水栓等の変化しやすい構造物については出来るだけ含まないようにする）
- ・見出し点の名称は統一して記載すること。
（例）マンホール中心、電柱目地、柱角、ブロック角、タイル角、刻印、雨水枳内角 等
- ・埋設物の種別を表示すること。（記号もしくはマーク表示）
（例）E（電気）、T（電話）、W（水道）、F（消火栓）、G（ガス）、CAB 等
- ・基準点と見出し点位置に高低差がある場合、GH又は断面図により記載する。（水平に測定する必要はない）
- ・周辺店舗、家屋名等を記載すること。
- ・大阪市公共基準点及び道路基準点は実線丸囲みとし、自工区以外の大阪市公共基準点、道路基準点には、工区番号毎に番号の頭にアルファベットを付して破線丸囲みで表示し、付したアルファベットにあたる保全工区番号及び保全工区名の注釈を記載すること。なお、破線丸囲みの表示を行うにあたり、世界測地系で整備されていない工区においては、計画機関と協議すること。
アルファベット表示はAから順に付して「C」「E」は使用しない。
また、アルファベット表示は全ての成果において統一するものとする。

（例） 番号表示

自工区	3-〇〇-〇〇〇〇〇	他工区	A-3-〇〇-〇〇〇〇〇
	4-〇〇-〇〇〇〇〇		B-4-〇〇-〇〇〇〇〇

A- は 1 2 3 4 5 〇〇〇工区の基準点

B- は 2 3 4 5 6 △△△工区の基準点

- ・接続基準点番号を記載すること。
- ・大阪市公共基準点番号の表示
等級 区番号 点番号
〇 — 〇〇 — 〇〇〇〇〇
大阪市公共基準点番号のほか括弧書きで旧点番号も記載すること。（別図参照）
- ・大阪市公共基準点番号の付番にあたっては、点数が確定した後速やかに計画機関に報告のうえ、点番号の指示を受けて行うこと。また、大阪市公共基準点番号については、施行範囲の北西より南東に向かってつづら折りに付番すること。

区番号リスト

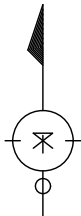
区番号	区 名	区番号	区 名	区番号	区 名
0 1	東淀川	0 9	大正区	1 7	東住吉
0 2	淀 川	1 0	阿倍野	1 8	平 野
0 3	西淀川	1 1	西 成	1 9	生 野
0 4	北	1 2	住 吉	2 0	東 成
0 5	福 島	1 3	住之江	2 1	城 東
0 6	此 花	1 4	中 央	2 2	都 島
0 7	西	1 5	天王寺	2 3	旭
0 8	港	1 6	浪 速	2 4	鶴 見

工区名	01234	〇〇〇〇
作成日	令和	〇〇年〇〇月〇〇日

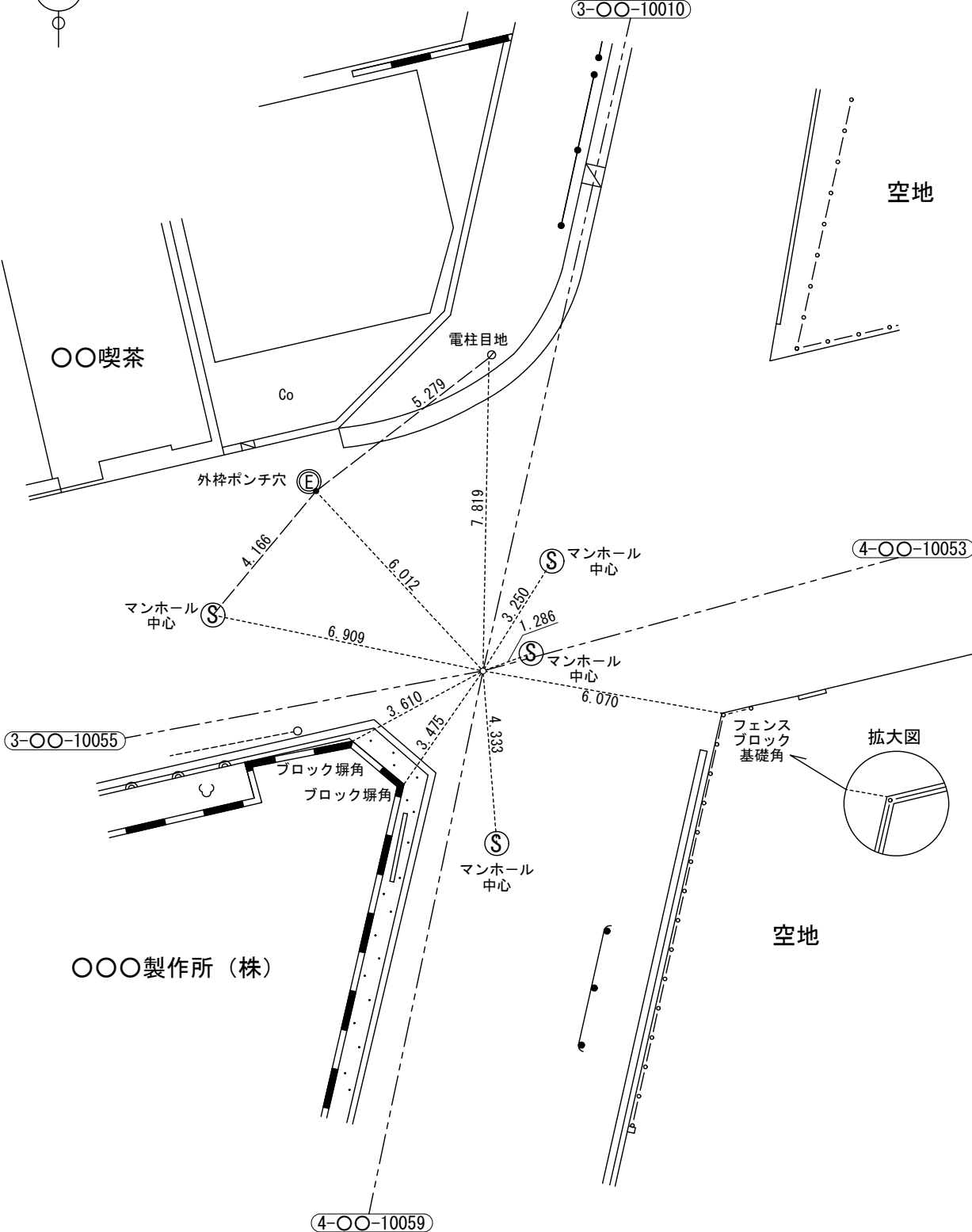
3-〇〇-00123

(金属標)

(3-〇〇-00123)

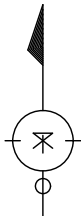


旧点番号

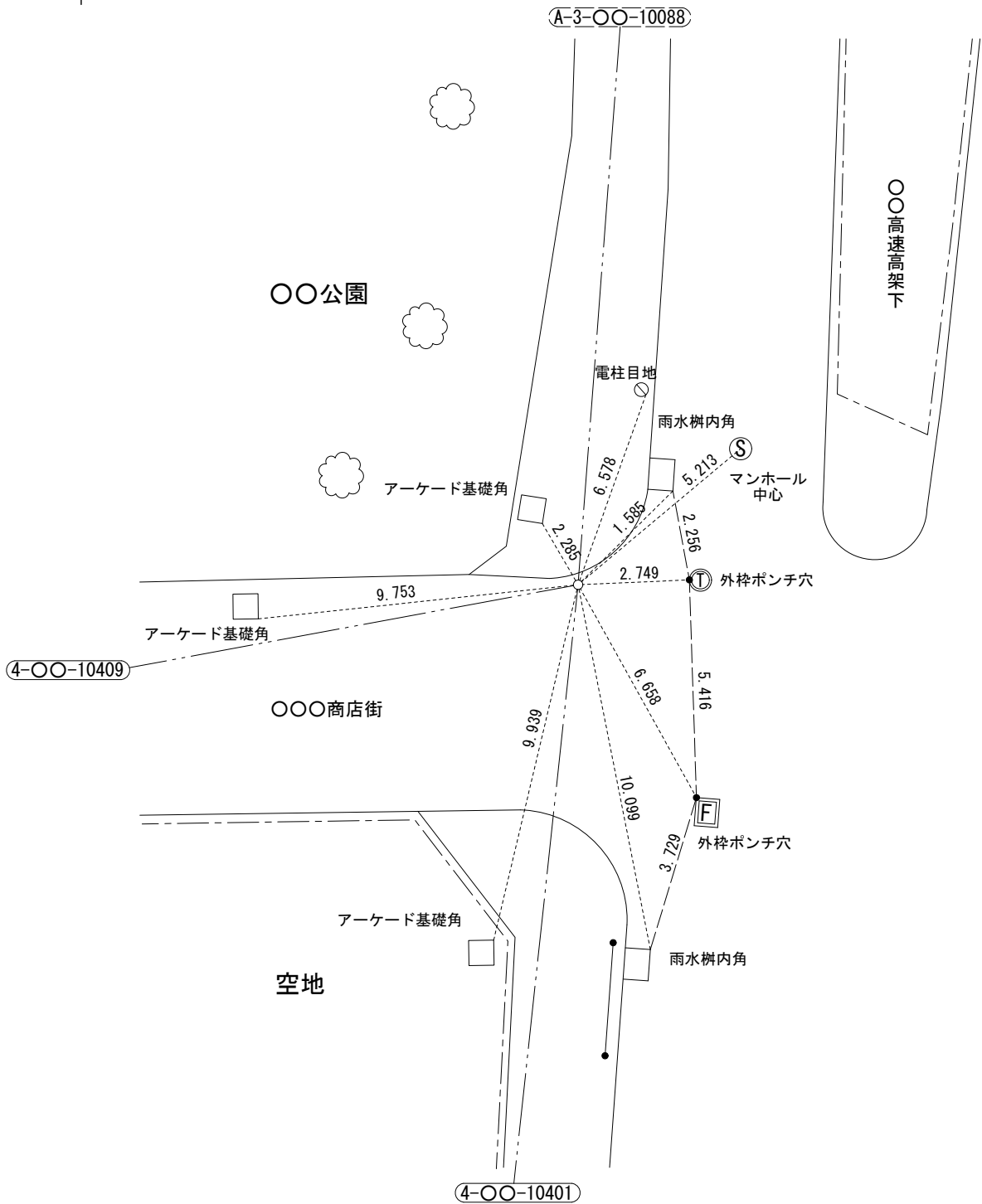


工区名	01234	〇〇〇〇
作成日	令和	〇〇年〇〇月〇〇日

3-〇〇-30123 (10A00)
(金属標)



旧点番号

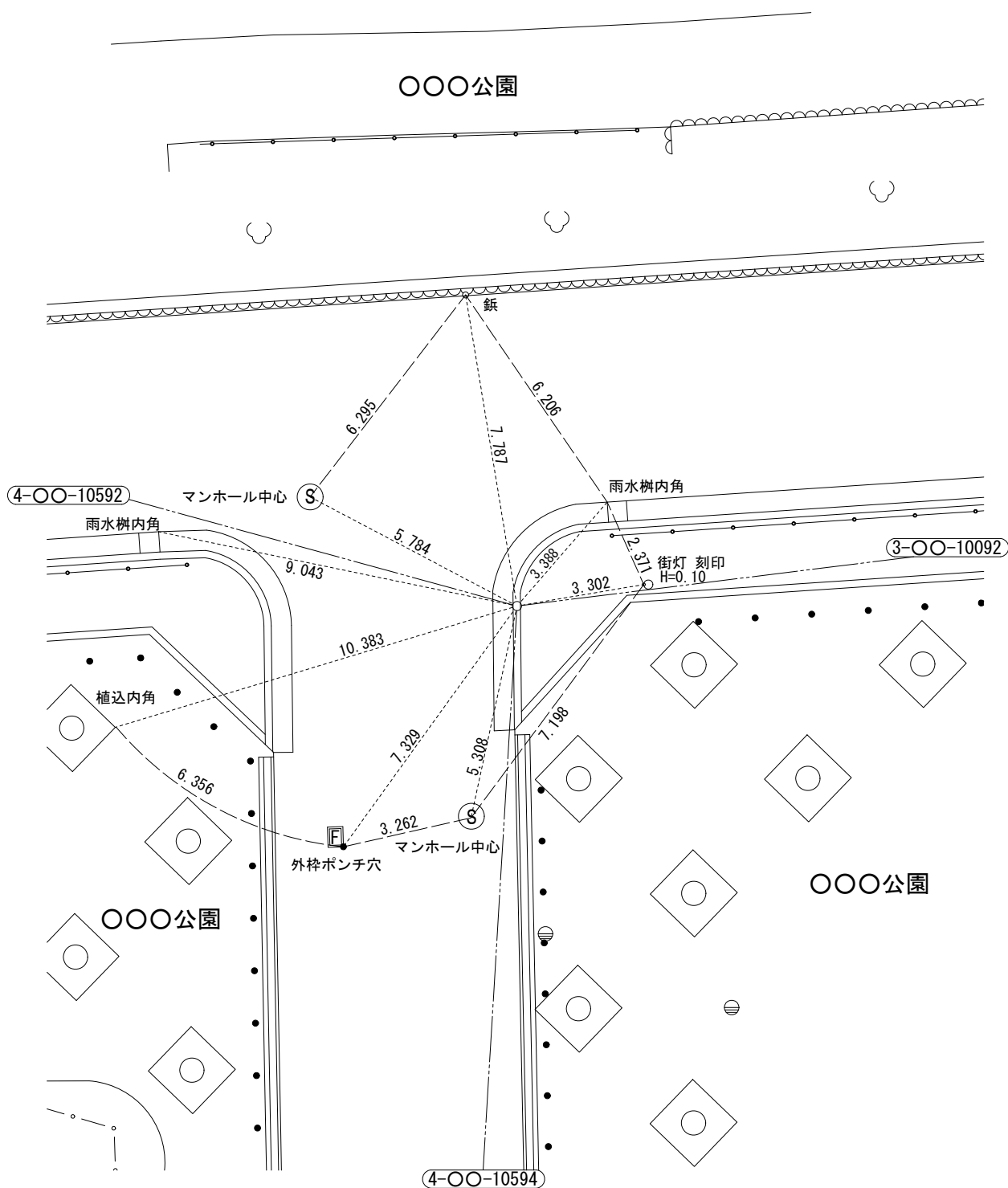
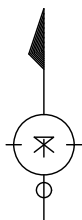


A-は、12345 〇〇〇〇工区の基準点

工区名	01234 ○○○○
作成日	令和 ○○年○○月○○日

4-○○-10123

(金属標)



整理番号 29. 大阪市公共基準点成果表

大阪市公共基準点成果表

- ・「大阪市 3・4 級公共基準点測量作業要綱」の標準様式「大阪市公共基準点成果表」を準用して作成すること。

- ・大阪市公共基準点番号の表示

等級 区番号 点番号
○ — ○○ — ○○○○○

大阪市公共基準点番号のほか括弧書きで旧点番号も記載すること。（別図参照）

- ・ 1/500 図面番号については、計画機関が指示する図面番号を記載すること。
- ・ 1/2500 図面番号については、大阪市地形図（1/2500）の図面番号を記載すること。
- ・ 所在地については、大阪市公共基準点を設置した場所を住居表示で記載すること。
- ・ 調製年月日については、成果表を作成した日及び表記内容について修正した日を記入すること。
- ・ 埋標年月日、観測年月日、埋標者、担当を記載すること。
街区多角点等において、移設を行わなかった場合については、旧成果表等から読み取り記載すること。読み取れない場合については、「—」とすること。
- ・ 位置図については、大阪市地形図（1/2500）を編集し記載すること。
- ・ その他記載する内容については、測量成果及び別紙大阪市公共基準点成果表等に基づき記載すること。なお、別紙①～⑤を用いて「大阪市公共基準点成果表」を作成する際は、以下を参照すること。
 - ① 3 級基準点の新設、移設を行う場合
 - ② 4 級基準点の新設、移設を行う場合
 - ③ 3 級基準点において補正パラメータによる標高補正のみを行う場合
 - ④ 4 級基準点において補正パラメータによる標高補正のみを行う場合
 - ⑤ 3 級基準点において「①、③」に該当しない場合

整理番号 29

大阪市公共基準点成果表

世界測地系 (測地成果2024)

ジオイド・モデル JPGE02024

調製 令和〇〇年〇〇月〇〇日

「この測量成果は、国土地理院長の助言をうけて得たものである。(助言番号)平又は令〇〇近公第〇〇号」

整理番号 29

大阪市公共基準点成果表

世界測地系 (測地成果2024)

ジオイド・モデル JPGE02024

調製 令和〇〇年〇〇月〇〇日

「この測量成果は、国土地理院長の助言をうけて得たものである。(助言番号)令〇〇近公第〇〇号」

大阪市公共基準点成果表

世界測地系 (測地成果2024)
ジオイド・モデル JPGE02024
調製 令和〇〇年〇〇月〇〇日

等級	3級基準点					
点名	3-〇〇-〇〇〇〇〇(3-〇〇-〇〇〇〇〇)					
座標系	VI	1/500 図面番号	〇〇-〇	1/2500 図面番号	No.〇〇	
測標の種類	金属標		縮尺係数	0.9999〇〇		
所在地	大阪市〇〇区〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇地先 (住居表示)					
所有者	大阪市		地目	公衆用道路		
平面直角座標	X=-123456.789		Y=-12345.678			
標高	H=1.234					
視準点の名称		平均方向角		距離の真数	備考	
③3-〇〇-〇〇〇〇〇		12° 23' 34" .5		123.456		
③3-〇〇-〇〇〇〇〇		34° 45' 56" .7		12.345		
埋標年月日	平成 又は 令和	〇〇年 〇〇月 〇〇日		観測年月日	平成 又は 令和	〇〇年 〇〇月 〇〇日
埋標者	株式会社 〇〇〇〇		担当	〇〇 〇〇		
位置図 1/2500			詳細図			
			別紙参照			

「この測量成果は、国土地理院長の助言をうけて得たものである。(助言番号)平又は令〇〇近公第〇〇号」

WEB版PatchJGD(標高版)による標高補正(ver.1.0.1、hyokorevTR_jgd2024_h.par ver.1.0.0)

大阪市公共基準点成果表

世界測地系 (測地成果2024)
ジオイド・モデル JPGE02024
調製 令和〇〇年〇〇月〇〇日

等級	4級基準点				
点名	4-〇〇-〇〇〇〇〇(4-〇〇-〇〇〇〇〇)				
座標系	VI	1/500 図面番号	〇〇-〇	1/2500 図面番号	No.〇〇
測標の種類	金属標		縮尺係数	0.9999〇〇	
所在地	大阪市〇〇区〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇地先 (住居表示)				
所有者	大阪市		地目	公衆用道路	
平面直角座標	X= -123456.789		Y= -12345.678		
標高	H= 1.234				
視準点の名称		平均方向角	距離の真数	備考	
③3-〇〇-〇〇〇〇〇		12° 23' 34" .5	123.456		
④4-〇〇-〇〇〇〇〇		34° 45' 56" .7	12.345		
埋標年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日		観測年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日	
埋標者	株式会社 〇〇〇〇		担当	〇〇 〇〇	
位置図 1/2500			詳細図		
			別紙参照		

「この測量成果は、国土地理院長の助言をうけて得たものである。(助言番号)令〇〇近公第〇〇号」

WEB版PatchJGD(標高版)による標高補正(ver.1.0.1、hyokorevTR_jgd2024_h.par ver.1.0.0)

5

整理番号 29

大阪市公共基準点成果表

世界測地系 (測地成果2011)
日本のジオイド2011「ver. 2.2」
調製 令和〇〇年〇〇月〇〇日

等 級	3級基準点					
点 名	3-〇〇-〇〇〇〇〇(10A00)					
座 標 系	VI	1/500 図面番号	〇〇-〇	1/2500 図面番号	No.〇〇	
測標の種類	金属標		縮尺係数	0.9999〇〇		
所 在 地	大阪市〇〇区〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇地先 (住居表示)					
所 有 者	大阪市		地 目	公衆用道路		
平面直角座標	X= -123456.789		Y= -12345.678			
標 高	H= 1.234					
視準点の名称		平均方向角		距離の真数	備 考	
③3-〇〇-〇〇〇〇〇		12° 23' 34" .5		123.456		
③3-〇〇-〇〇〇〇〇		34° 45' 56" .7		12.345		
埋標年月日	平成 又は 令和	〇〇年 〇〇月 〇〇日		観測年月日	平成 又は 令和	〇〇年 〇〇月 〇〇日
埋 標 者	株式会社 〇〇〇〇		担 当	〇〇 〇〇		
位置図 1/2500			詳細図			
			別紙参照			

「この測量成果は、国土地理院長の助言をうけて得たものである。(助言番号)平又は令〇〇近公第〇〇号」

『平成26年4月1日付 標高改定確認済』

整理番号 3 0 . 公図・地積測量図

3 1 . 全部事項証明書（土地）・要約書

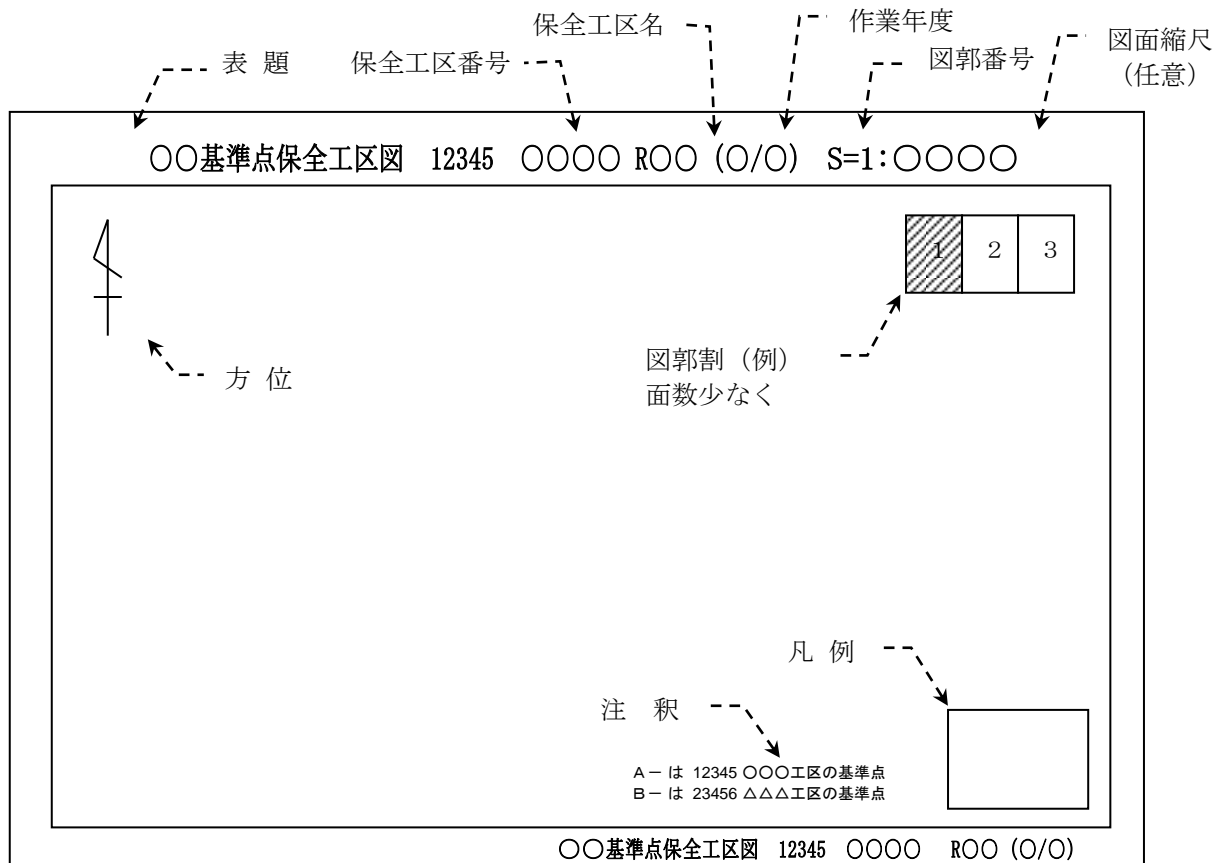
- ・法務局調査の結果についてはCD—R（PDF）にて「電子納品成果」のとおり格納すること。

整理番号 3 2. 公共測量成果一式

- ・ 本規程 第 2 5 条（品質評価及び成果等の整理）に基づき成果を作成すること。
- ・ 公共測量成果（国土地理院提出用）C D—R については「国土地理院の助言」に記載された条件に従い「電子納品成果」の形式で格納すること。

整理番号 3 3. 大阪市 3 級公共基準点保全工区図

大阪市公共基準点及び道路基準点保全工区図



・大阪市 3 級公共基準点保全工区図は、計画機関が貸与する行政区毎に作成された保全工区図 (PDF 及び S X F) に変更が生じた箇所の修正を行うこと。

・大阪市公共基準点及び道路基準点保全工区図は、大阪市地形図(1 / 2 5 0 0)を編集し街区番号、大阪市公共基準点及び道路基準点名等を記載すること。(計算点は表示しない)

・主要地物名、主要路線名等を記載すること。

・地形図の色は「赤系」とし、白黒複写時に地形と基準点番号の色合いに濃淡がつくように調整する。

・大阪市公共基準点、道路基準点及び街区番号は実線丸囲みとし自工区以外の大阪市公共基準点、道路基準点及び街区番号には、工区番号毎に番号の頭にアルファベットを付して破線丸囲みで表示し、付したアルファベットにあたる保全工区番号及び保全工区名の注釈を記載すること。なお、破線丸囲みの表示を行うにあたり、世界測地系で整備されていない工区においては、計画機関と協議すること。

各図面で必要な他工区点の記載がある場合のみ注釈を表示すること。

注釈のアルファベット表示は A から順に付して「C」「E」は使用しない。

また、アルファベット表示は全ての成果において統一するものとする。

例) 番号表示



A- は 1 2 3 4 5 〇〇〇工区の基準点
B- は 2 3 4 5 6 △△△工区の基準点

- ・ 図面枠外となる接続点（大阪市公共基準点等）は図面上に表示すること。

